

まちなが快遊マップ

歩いていける佐野の名所・史跡などのスポット紹介
※表裏イラストマップ参照

佐野駅から金屋町通りへ

1 佐野駅

明治21年（1888）5月小山～足利間の鉄道が開通しました。駅舎は昭和3年（1928）に建てられた昭和初期の洋館駅舎の代表として「関東の駅百選」にも選ばれました。

2 駅前広場

市の鳥「おしどり」の像と噴水を中心にして小道があります。「おしどり」は当地出身で芸大

教授の故三井安蘇夫氏の作品です。戦時中駐屯した作家司馬遼太郎を記念した文学碑もあります。

3 駅前道路

「子供にやさしい町」をモットーにして、道には子供の像やベンチがあります。市役所前の公衆電話ボックスは当地が誇る天明鑄物で装飾されています。

4 城山公園

佐野氏の城跡で、築城が始まって12年経った慶



A 出流原弁天池	25分	F 茂呂山公園	10分
B 田中正造旧宅	15分	G みかも山観光物産会館	20分
C 人丸神社	15分	H みかも山公園	20分
D 子供の国	10分	I かたくりの郷	20分
E 唐沢山	20分		

※ ⑨佐野駅から車を使用した場合における所要時間

BEST 9

名水百選の透明な清水
山まるごとがきれいなハイキングコース
歴史あるおおきな神社
ちょっと足をのびてみましょう

長19年（1614）には廃城になりました。桜やツツジの名勝としていこいの場になっています。「万葉の里 城山記念館」では、毎月一回、当日でも参加できる野茶会が開かれます。
TEL.0283-23-0728

5 アークステージ

ランドマークタワー中程は天明鑄物で装飾されて、昼は時の鐘の塔、夜は織旗に描かれる武者絵が浮かぶ光の塔になります。

6 孫太郎神社

佐野厄除け大師の守護神として寺と共に城山にありました。今は伊賀町の稲荷様です。隣接する公園の桜は佐野で一番早く開花すると云われています。

7 ギオン小路

両毛線の開通とともに界隈は料亭が軒を並べ、芸者置屋もあって華やいた雰囲気がありました。その喧嘩さはありませんが、名前のみが往古の繁栄を物語るしています。

8 地久稲荷神社

商店に開かれた神さまに商売繁昌を願ってきました。別名「子育て稲荷」とも呼ばれ、子供の無事な成長の願いを聞き届けます。

9 東石美術館

日本画、洋画、彫刻、陶磁器等日本を代表する作家の作品を展示しています。時間をかけてゆっくりと鑑賞しましょう。定休日は毎週木曜日、年末年始です。
TEL.0283-23-8111

10 佐野町道路元標

大正11年（1922）内務省令に基づき、各市町村に道路の起点を示すための道路元標が設置されました。当初の場所から少し移動しましたが状況を良く伝えています。貴重な近代化遺産です。

11 日光例幣使街道

天皇の勅使（例幣使）が京都から日光に派遣されて一行約60名が毎年4月12日には天明宮本陣に宿泊しました。例幣使は江戸時代末までの22年間続きました。街道沿いには商店が軒を並べ、その繁昌ぶりは小沼只服店や土佐屋紙店の店構えや看板などから窺ふことができます。

12 星宮神社

古くは天明宿、佐野町の氏神です。社殿は古墳の上に建っていると言われています。境内の銅造鳥居（市指定文化財）や数燈籠は共に天明鑄物の製品です。木陰で一休みして行きましょう。

13 うだつのある家(大川邸)

甲斐性のない男を「うだつの上がらぬ男」と言いますが、その「うだつの上がった」家があります。西風の強いことから、各家の西側に防火壁として造られました。裕福さの象徴でもあります。

東武佐野駅から金屋町通りへ

14 八街道祖神社

神社は東武佐野駅構内にあり、鉄道開通時に造られました。多くの道の交叉した辻に駅が造られ、道や鉄道を通して、文化と共に悪疫や疫病が入り込まないように願が込められています。

15 宝龍寺

浄土宗のお寺で、境内には天明鑄物が造った総高4mの銅造阿彌陀如来坐像（市指定文化財）があります。仏像前には「故春日山萬歳碑」があり、碑を囲む玉垣には双葉山、羽黒山などなつかしい多くの力士の名前が刻まれています。

16 金山神社

古くは天明といひ、江戸時代になって佐野天明と変わりましたが、多くの鑄物師が住み関東、東北に鑄物製品を出荷していました。最盛期には百人を超える鑄物師が住んでいて、この神社のもと結束してきました。

17 普門院

270年前の享保年間に地蔵信仰が盛んになりました。本尊の銅造観音地蔵（県指定文化財）は、その時代の天明鑄物師の手によって造られました。長い間地域の住民によって信仰されています。

18 正野邸

安政二年（1855）に建てられたと言われています。稲田佐野藩に出入りしていた御用商人（油屋）を勤めていた事もあって土蔵造りの商家を見ることが出来ます。

19 江戸街道

さまざまな文化と多くの物資の往来がありました。「江戸」に通ずるという羨望もあって、「江戸街道」の愛称で伝えています。佐野は織物の街として繁栄してきました。昭和九年（1934）に建てられた二階建ての洋館建築の小島邸はその象徴です。またななめ向かいの太田邸は明治中期の二階建て土蔵造りの商家建築で、共に栃木県の近代建築の近代化遺産として紹介されています。

金屋町通り

20 金屋町通り

お城が唐沢山から城山に移ると同時に今の町割りが出来ました。厄除大師入口の通りは、西から金井上町、金屋町、金屋下町と呼ばれる町内の中心を走っています。江戸時代初期、通りの両側に約70軒の鑄物師が軒を並べ、鑄物製品を生産していました。ここに住んだ鑄物師が奉納した梵鐘（市指定文化財）が厄除大師にあり「明暦4年（1658）鑄物屋一万余名」と刻まれています。

21 影沢医院

明治44年（1911）に建てられた木造二階建ての洋風建築です。玄関上部にはポーチがせりだし、影沢医院を表すマークも装飾的に富んでいます。建築当初の姿を留めていて、現在も医院として使用しています。

22 日本キリスト教会

昭和9年（1934）に造られた木造二階建ての瓦葺きの洋風建築です。建設の募金活動をした永嶋与八は田中正造翁と行動を共にしました。昭和初期の建築として国の登録文化財になりました。

23 観音寺

本堂前には総高3mを超える銅造阿彌陀如来坐像（市指定文化財）があります。台座には寄進者名や天明鑄物師の名が刻まれています。また、佐野七福神の大黒天の寺です。有言善財をお願いします。

24 佐野厄除大師

関東の三大師として知られていますが、正式な名前は「春日岡山惣宗寺」といひ天台宗の

お寺です。正月には厄除け、方位除け、家内安全を願う参拝客で賑わいます。境内には東照宮社殿（県指定文化財）、梵鐘（市指定文化財）や田中正造翁の墓、石川啄木の歌碑、黄金の梵鐘などがあります。

25 佐野市観光物産会館

市内の観光とお土産や特産物を知ることが出来る拠点です。店内には沢山の郷土産品や観光マップも取り揃えてあります。
年中無休 TEL.0283-21-5111



26 涅槃寺

本堂を飾る「涅槃寺」の梵鐘は慶長15年（1610）御臨成天皇より額字（市指定文化財）をいただき、それを写したものです。

27 郷土博物館

佐野の考古、歴史を展示していますが、地場産業の天明鑄物、織物や人形など郷土の関する資料も展示しています。日本建築学会賞をいただいたモダンな建物です。定休日を確認して下さい。
〒327-0003佐野市大蔵町2047 TEL.0283-22-5111



28 稲荷神社

金屋下町の鎮守様です。商売繁昌は勿論のこと、火防、家内安全、交通安全の神様として大変御利益があります。

29 佐野市立図書館

佐野の郷土資料を取り揃えていますので、ぜひ訪ねてください。休館日がありますので事前に確認下さい。
〒327-0012佐野市大蔵町2977 TEL.0283-22-1833

30 興福寺

良く整備された境内は拝利ならでの静けさがあります。門前の結界石の華塔や山門の扁額「天祥山」を拝見してから参拝しましょう。

31 妙音寺

日蓮聖人の法孫天目日盛聖人が宗祖没後四十年目の嘉善元年（1326）開基の寺です。境内には嘉永3年（1850）建立の芭蕉句碑「静かきや 岩にしみいる 蟬のこゑ」があります。

32 日限(ひぎり)地藏尊

涅槃寺の地蔵堂ですが、平成3年天明大橋の開通と共に本堂と向きが異なりました。通称「日限地藏尊」と呼ばれていて、日を切ってお参りする、その日の内に願いが叶うと言われています。

33 徳雲寺

昔、この付近に「安蘇邸」と呼ばれた邸がありました。山号の白龍山はその水に由来しているのかも知れません。通称「赤門の寺」として親しまれています。

34 住吉神社

寛永11年（1634）9月金屋町氏神として創建。

国守り、海路平安の神様ですが、農業、産業の神様としても信仰されています。

35 観音堂

かつては、惣宗寺末寺に千手院というお寺があり、観音堂のみ残りました。千手観音菩薩像を奉っています。千本のそれぞれの手には眼を持ち、延命、罪滅、除病や諸願成就と衆生の願いを聞き届けてくれます。

36 鹿島神社

平将門を討った田原藤太藤原秀郷公の軍守神として崇敬されています。寛永4年（1627）11月城山から現在地に移動しました。明神様として親しまれています。

37 金成院

江戸時代には金持寺といひ末寺10ヶ寺を持つ大寺でした。明治41年、成就院、光明寺と合寺し、金成院となりました。墓地や境内も広く、市内の寺院の中でも古い歴史を持つお寺です。

38 三日月神社

旧暦毎月3日が三日月となるので縁日とし、信仰を集めてきました。祭神の月読命（つきよみのみこと）は厄除開運、延寿萬福、病氣平癒、安産、学業成就を叶えてくれます。

39 弟之神社

祭神は徳川家康公です。元和3年（1617）久能山から日光へ改葬時に、遺骸をこの地に止め宿したため、後世、村民が神社とし、音が近き故に弟之（おとの）神社としたと言われています。

現在の天明鑄物

40 金次町通り

江戸時代中頃から鑄物工場は金屋町通りから周辺に移る傾向が見られて、末期には鑄物生産の中心が金次町に移って来ます。昭和20年前までは鍋釜鋳造を関東、東北地方に盛んに出荷していました。

41 若林鑄造所

現在でも関東一円に残っている半鐘に糸と刺した製品は若林鑄造所の製品です。先代まで梵鐘も造っていました。若林秀氏は5代目で、主に茶釜などの茶道具を造っていますが、伝統の半鐘や鍋口などの仏具も手掛けています。
TEL.0283-22-0454

42 正田治郎右衛門

地味な鑄物製品を華やかにしたのが「紫銅焼き」の製品です。花瓶や火鉢、置物など個々に紋様が異なります。店内には紫銅焼き製品のほかに伝統の天明茶釜などが展示してあります。29代目正田治郎右衛門氏はその伝統を守っています。
TEL.0283-22-0802

43 栗崎鑄工所

天明鑄物師栗崎二夫氏の作品は公衆電話ボックスの装飾、城山公園や星宮神社の鉄柵など市内各所で散見できます。新しい鑄物製品に挑戦しています。店内には花瓶、朱肉入れ、ペン立てなどあって手ごろな値段で購入できます。
TEL.0283-22-0952

44 鐘の館

看板に半鐘つるしているお店です。④佐野鑄造所として多くの鍋や釜、半鐘を造って来ました。鉄を溶かしたキューボラが残っています。店内には鉄の製品を中心に取り揃えていて、自由に見学も出来ます。 TEL.0283-22-0556